

## 活動履歴と今後の予定

- 7/2 宮城県現地ヒアリング  
 7/11 岩沼空き家活用PJ会議  
 7/19 錦町東住宅役員会  
 8/1 北浜住宅役員会  
 8/2 あすと第三みのり会役員会  
 8/7 きたはま食堂  
 8/16 荒井東住宅役員会  
 8/22 ターボリンWS@岩沼れんがののうち  
 ターボリンWS@玉浦西地区  
 8/24 第4回理事会  
 しおたが被災者支援ネットワーク会議  
 8/26 共助型見守りWG  
 8/27 「ラジオ自治会相談室」収録  
 岩沼空き家活用PJ会議  
 岩沼空き家活用PJ会議  
 9/5 共助型見守りWG  
 9/9 錦町東住宅役員会  
 9/13 陶芸WS@荒井東住宅  
 9/22 Fw:東北Fanミーティング(復興庁)登壇  
 9/24 陶芸WS@岩沼れんがののうち  
 陶芸WS@玉浦西地区

あすと食堂  
再開しました！

〈これまでの内容とこれからの予定〉＊カッコ内は調理担当団体です。

- 7/23 あすと第二食堂(仙台白百合女子大学)  
 9/27 あすと第二食堂(仙台白百合女子大学)

※新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを作成し、  
対策を取りながら再開しました。

テイク  
アウト  
OK!

会員数  
正会員 37 (+1)  
賛助会員 23 (+3)

facebook  
いいね!数 514 (+13)

2020年9月1日 現在(前号比)

## 入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控除の対象となります。会員登録みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 <https://tsunacen.thebase.in/>

## 継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。  
 ・正会員：年間6,000円・総会議決権あり  
 ・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

## 寄付のお振込先

＜口座名義＞特定非営利活動法人つながりデザインセンター  
 ●郵便振替：02230-8-121908  
 ●郵便振込：ゆうちょ銀行 二二九支店（ニニキュウ） 当座預金 0121908

## 会員団体のみなさま

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あーて推進協会 SD不動産  
 NPO法人アートワークショップすんぷちょ NPO法人クラブス NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会  
 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねい」と 株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室  
 グループひまわり CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「はっと亭」 今野不動産株式会社 仙台白百合女子大学 佐々木研究室  
 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室  
 東北大学 東日本大震災PGT支援機構 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP  
 長崎大学安武研究室 宮城厚生協会長町病院 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

## 役員名簿

代表：薄田 榮一  
 副代表：新井 信幸  
 理事：及川 多香子  
 理事：加藤 渉  
 理事：松原 久  
 理事：宮本 愛  
 監事：金沢 和樹  
 監事：佐々木 裕子

## 編集後記

設立4年目となる今年度、つなセンは認定NPOの取得、法人名の変更という二つの変化を迎えました。「認定NPO法人つながりデザインセンター」として、より大きな社会的責任を担っていくよう、今後もコミュニティ支援、まちづくりコーディネート、住生活支援、地域コモン創出、新しい住まい方に関する調査研究・コンサルティングの5つの柱を中心に、各地の支援に取り組んでいきます<宮本>

## 認定NPO法人

## つながりデザインセンター

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080-3205-5177  
 MAIL [asuto@tsuna-cen.com](mailto:asuto@tsuna-cen.com)  
 WEB [www.tsuna-cen.com](http://www.tsuna-cen.com)

GOOD DESIGN AWARD 2018

16  
2020.09

つなセン  
TSUNAGARI Design Center  
NEWS



熊ビルD-1に参加してくれた熊ビル内のアート活動に通っている子どもたち

セルフで地域拠点づくり

岩沼・玉浦西でイベント開催！  
 ミツイ、公営住宅での清掃協力  
 シェアハウス長町南修繕プロジェクト開始  
 【団体紹介】SD不動産



## 活動報告

## Main Topic

## ソーシャルな不動産事業の展開

仙台市宮城野区・築55年の民間ビル

アトリエ  
アパートメント  
『熊ビル』

今年6月に老朽化した建物(長町六丁目)の取り壊しに伴い、つなセン事務所は、仙台市宮城野区にある通称「熊ビル」に移転しました。これにより室内は2倍に広がり、床がレトロな板張りになったり、以前よりも快適な執務空間が得られるようになりました。加えて、画家、アートプロデューサー、テイラー、映像作家、楽器創作家など、熊ビルに入居しているクリエイターたちとの交流も生まれ、刺激的な毎日を過ごしています。

熊ビルは築55年と年季の入った4階建て鉄筋コンクリート造の雑居ビルで



▲4階建ての親熊ビルと右隣は2階建ての子熊ビル

本名は「熊谷ビル」。仙台駅から東へ3kmほどの陸前原ノ町駅の近くに建つ、1階店舗、2階事務所、3,4階住居。両脇に2階建てと平屋が寄り添い、裏にも小屋があるなど、約30区画が存在しています。90年代には空室が目立っていましたが、2000年代に入ってから、一人の画家の入居をきっかけに次々とクリエイターの入居が進み、数年後にはほぼ満室状態になったとのこと。その頃から、セルフリノベーション可、原状回復なし、という条件で契約しています。そして、徐々にアトリエとして利用されたことから、いつしか「アトリエアパートメント」と呼ばれるようになりました。

ここ数年は再び空室が増え、つなセンが入居できるチャンスが生まれました。いまはオーナーの「若い人たちに夢のある使い方をしてほしい」という希望をサポートするかたちで、他の空室の利活用の検討も進めています。



▲熊ビルDIYに参加する大学生たち



▲リノベーションされたつなセン事務所内部(熊ビル)

2 地域の拠点形成に向けた  
空家・空室活用

つなセンでは、空家や空室を活用したソーシャルな不動産事業を展開しています。熊ビルもそのうちの一つになりそうですが、最初に手がけた事業は「菜園付きシェアハウス長町南」(2019年1月入居開始)で、現在は全5部屋の入居も埋まりつつあります。また今年4月からは、家主からの依頼を受けて、宮城県岩沼市中心部にある空き家(延べ床約200㎡)の活用方策の検討を進めています。こちらは1階を子育て支援活動拠点、2階をシェアハウス(ひとり親世帯)での活用を想定して、現在は1階のお試し利用ということで、親子向けイベントを開催したり、ママカフェオープンの準備を進めたりしています。こうした取り組みは、特に地方で問題が顕在化している老朽化した空家・空室対策として手がけているものもありますが、新たな地域コミュニティの拠点形成という意味合いの取り組みでもあります。さらに、NPO運営の安定した財源確保にも寄与してくれることを願いつつ、今後も新たなプロジェクトにもチャレンジしていきたいと考えています。



▲庭で育った野菜をつかった鍋パーティー(シェアハウス長町南)



▲縁台や掲示板をDIYで制作する大学生たち(シェアハウス長町南)



▲煉瓦タイル張りの風貌から岩沼の空き家は「れんがのおうち」と命名



▲地方ならではの広々とした続き間でイベントにも染み対応(れんがのおうち)

会員  
団体紹介  
No.16

## SD不動産



SD不動産は、岩沼市・仙台市を拠点とする不動産業を営む会社です。もともと岩沼市を中心にテナント業をしていたことから、事業のパワーアップを目指し令和元年12月に起業されました。SD不動産という名前の由来は江戸時代から経営していた呉服店に代々を受け継がれた「佐藤伝蔵」という名から頭文字を取り、名付けたそうです。

現在は不動産業のほかにも、つなセンNEWS15号、16号のtopicsでもご紹介した岩沼市にある築23年延べ床面積200平米の木造家屋(通称:れんがのおうち)の社会貢献活動の2本柱で事業に取り組んでいます。

8月22日には、1階の広いリビングと2間続きの和室を使って、れんがのおうちで初めてのイベントとなるターポリンワークショップを開催し、沢山の親子連れで賑わいました。今後も岩沼市内で子育て支援に取り組む三浦未穂さん(ちびぞうクラブ代表)にもご協力いただき、子育て支援、地域交流の場として利用管理ルールの策定など具体的な活用の検討をしていきます。

## Topics

## 岩沼・玉浦西でイベント開催！

8月22日、カラフルなパーツを組み合わせて、オリジナルのグッズをつくるターポリンワークショップを岩沼市空き家活用プロジェクトを進めている岩沼れんがのおうちと多世代交流イベントに力を入れている玉浦西地区の2箇所で開催しました。総勢21名のお子さんからお年寄りの方まで集まり、町の工場で処分されるはずだった端材



(余り部分)を活用し、水や汚れに強い「ターポリン」という素材を使ったオリジナルのバッグづくりに挑戦しました。

講師には仙台でワークショップを通じた伝統工芸の啓発活動などを行うFabLab SENDAI-FLATの

小野寺志乃氏をお招きし、新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮し、Zoomを使ったオンラインレクチャーで開催しました。

接着剤などは使わずパーツ同士を組み合わせ、難しい行程もありましたが、親子で協力し合いながらカラフルなバッグを作り上げる様子が見られ、とても賑やかな1日となりました。

9月末には同会場で陶芸ワークショップを開催予定です。



## ミツイ、災害公営住宅での清掃協力

株式会社ミツイが運営するRickeyクルーズによる共用部清掃ボランティアがあすと長町第三市営住宅で7月より2回始まりました。昨年度より実施しているあすと長町第二市営住宅に引き続き、2棟目の取り組みです。株式会社ミツイは保育園事業だけでなく、就労移行支援にも取り組み、実習の場としてあすと長町で清掃の協力をしており、



毎回10名前後の体制で清掃を行っています。住民の方々からは「住民だけでは手の回らないところを清掃していただけて助かって」との声が聞かれています。新たな人のつながりを生む新プロジェクトにご期待ください。

## シェアハウス長町南修繕プロジェクト開始

9月末より2階の部屋の利用が始まるため、壊れていたトイレを直すなど、修繕が始まっています。先日、シェアハウスを研究テーマとしている東北工業大学の学生さんと一緒に今後の修繕計画を立てました。ゴミ箱の容量が足りていない、洗濯機周りに洗剤置き場がない、網戸が壊れている、など様々な問題点を洗い出しました。今後は入居人ともコミュニケーションをとりながら、より詳細な計画と実施を一緒に行うことになっています。こうして少しずつ手を加えながら、愛着ある住まいにしていけることが、古い物件の面白さでもあります。

